

## 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 (第 24 期・第 2 回) 議事録

日時 ; 平成 30 年 6 月 12 日 (火) 9 : 55-11 : 50

場所 : 日本学術会議 6 階 6 - A ( 1 ) 会議室

出席者 : 小池俊雄 (スカイプ参加)、佐竹健治、辻村真貴、中田節也、橋本学、古屋正人 (スカイプ参加)、山形俊男、東久美子

欠席者 : 中島映至、中村卓司、中村尚

### 配布資料

資料 1 : 地球惑星分科会 IUGG 分科会 (第 24 期・第 1 回) 議事録 (案)

資料 2 : IUGG 分科会報告

資料 2-1 : IUGG 分科会報告修正版

資料 2-2 : ECSA 申請の概要

資料 2-3 : Nomination Form-IUGG Bureau and Finance Committee Members (2019-2023)

資料 3-1 : 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAG 小委員会 (第 24 期・第 1 回) 議事録

資料 3-2 : 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAGA 小委員会 (第 24 期・第 1 回) 議事録 (案)

資料 3-3 : 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAHS 小委員会活動報告

資料 3-4 : 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAMAS 小委員会 (第 24 期・第 1 回) 議事録 (案)

資料 3-5 : 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAPSO 小委員会 (第 24 期・第 1 回) 議事要旨

資料 3-6 : 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IASPPEI 小委員会 (第 24 期・第 1 回) 議事録

資料 3-7 : 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAVCEI 小委員会 (第 24 期・第 1 回) 議事録 (案)

### 議事

#### 1. 前回議事録の承認

- ・ 前回議事録を確認後、承認された。

#### 2. この間の IUGG の委員の動き (資料 2-1)

- ・ 中田委員長から IUGG 分科会としての対外活動及び執行委員会の報告があった。
- ・ 執行委員会報告の中で、セルビアの準会員としての投票及び IUGG 規約と規則の改正の投票を行ったことなどの報告があった。
- ・ 小池委員から Secretary General の任期及び長年 SG を務めているアrik 氏の任期について質問があり、Secretary General ポジションにこれまで立候補がなかったため長年詰める結果になっている旨の説明が委員長からあった。今回の規則改正により Secretary General と Treasurer の任期が 1 期 (4 年) で、引き続き 2 回を超えない期間の再選可能となったことが確認された。

### 3. 各小委員会からの報告

- ・東委員から第24期・第1回 IACS 小委員会を9月に開催する予定であるとの報告があった。委員長及び幹事はその際に正式に決定される。
- ・橋本委員から IAG 小委員会の活動について報告があった（資料3-1）
- ・中村卓司委員が欠席のため、IAGA 小委員会の活動について中田委員長が資料を読み上げた。（資料3-2）
- ・辻村委員から IHAS 小委員会の活動について報告があった。正式な会議はまだ開催していないため、小委員会の委員長、委員は正式な会議を開催後、決定する予定。（資料3-3）。
- ・小池委員から7月29日に京都大学に UNESCO chair が発足することが報告された。
- ・中村尚委員が欠席のため、IAMAS 小委員会の活動について、中田委員長が資料を読み上げた。（資料3-2）
- ・山形委員から IAPSO 小委員会の活動について報告があった。（資料3-5）
- ・佐竹委員から IASPEI 小委員会の活動について報告があった。（資料3-6）
- ・中田委員長から IAVCEI 小委員会の活動について報告があった。（資料3-7） また、追加情報として2021年にニュージーランド、ロトルア市で IAVCEI の science assembly が開催されるとの報告があった。

### 4. Early Carrier Scientist Award の推薦(資料2-2)

- ・IAG、IAGA、IAPSO、IASPEI から合計4名の推薦があり、IAG、IAPSO、IASPEI 推薦の候補者について、それぞれ橋本委員、山形委員、佐竹委員が推薦理由を説明した。
- ・論文の被引用数と H-index などの客観的なデータに基づき、時長氏と辻氏の2名を IUGG 分科会として推薦することとなった。両名とも優れた研究業績を持つが、分野も異なり、優劣がつけにくいので、順位をつけずに両名を推薦することとした。
- ・正式に推薦するためには、時長氏の推薦文を200字以内に短縮し、年齢を記載した CV を提出する必要がある。一方、辻氏は publication list を短縮する必要がある。6月20日が推薦の締め切りで、今週中に時長氏については山形委員が、辻氏については佐竹委員が推薦文や関係資料を修正する。両名の推薦書に中田委員長がサインして IUGG に提出する予定。

### 5. その他

#### 5-1. 執行委員の推薦について(資料2-3)

- ・IUGG 次期役員 (President, President-Elect, Secretary General, Treasurer, Bureau member, Financial Committee member) の推薦が今年10月8日にメ切なので、日本から積極的に推薦したい。
- ・IUGG の Association の委員長も執行部なので、佐竹委員が IASPEI の委員長になる可能性が高いが、これ以外にも推薦することを今後検討する。比較的負担が軽い Bureau member

または Financial Committee member への推薦は可能と考えられる。

- Gold medal と Elected Fellow の推薦も今後検討する。前回 Gold Medal に推薦を行ったが、受賞には至らなかった。なお、IUGG の役員は自動的に Fellow になるが、それ以外に推薦によって Elected Fellow を決定する。Elected Fellow は優れた研究業績が必要。中田委員長は IUGG の委員を務めた功績により、すでに Fellow になっており、佐竹委員も次回の IUGG で Fellow になることが決まっている。他の Fellow の氏名は IUGG のホームページに掲載されている。

- IUGG 次期役員、Gold medal、Elected Fellow 推薦の有無については、今後メールで IUGG 分科会の委員に打診する。Gold medal の締め切りは 10 月 20 日、Elected Fellow は 9 月 20 日。

#### 5. 今後の予定（資料 2-2）

- 中田委員長から今後の予定について説明があった。

#### 6. その他

- 前回の議論で、IUGG 分科会が主催するシンポジウムについて検討することになった。シンポジウムの目的は、日本の存在感を IUGG に示すと同時に、国内においても IUGG の存在感を示すこと。

- IUGG 分科会主催のシンポジウムについて、以下の意見が出された。小池委員から IUGG の主要メンバーが来日する機会に併せてシンポジウムを開催し、IUGG の意義などを紹介していただくという案が出された。辻村委員から、国内の人材育成を今後どうするかが課題なので、IUGG 本体の主要な方(会長等)を招待して、実施するのが良いとの意見が出された。佐竹委員から ICSU の中には似たようなユニオンが沢山あるので、IUGG だけでなく、地球惑星に広げて実施するのが良いのではないかという提案があった。中田委員長から JpGU の際に実施するのが良いとの意見が出された。シンポジウムについては今後更に議論することになった。

- 次回の IUGG 分科会は、上記の推薦締め切りと IUGG 総会のセッション提案の締め切り間に合うように、10 月上旬の開催を検討することになった。